

# 大成工業株式会社が JICA と契約締結 米子発の技術でインドの衛生問題削減に挑戦

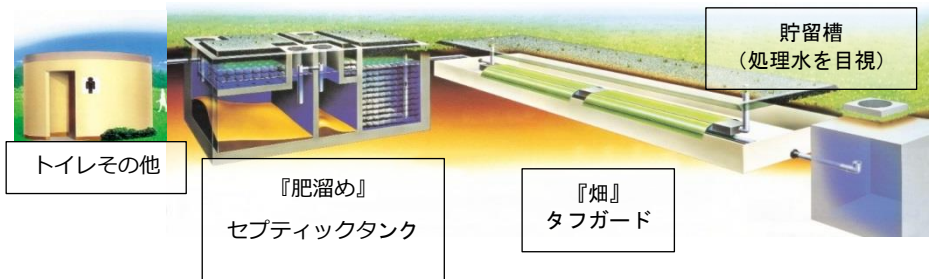
国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」(注)において大成工業株式会社（鳥取県米子市、三原博之代表取締役）が提案する「インド国環境配慮型トイレの導入にかかる普及・実証事業」を採択し、2018年6月1日に契約を締結しました。

大成工業が開発したTaisei Soil System (TSS) はトイレなどの汚水を放流することなく、敷地内での処理を可能にする無放流処理装置です。

この技術を活用した環境配慮型トイレは、日本国内数百カ所およびソロモン諸島において一般住宅、別荘、公共施設、公園、行楽地などに設置されています。自然の持つ優れた浄化力をフルに活かしたシステムは、従来の工法に比べ、維持費、労力を軽減します。また、土壌処理装置は地下に埋設されるため、上部スペースを花壇や畑などに活用することも可能です。



バラナシ市内（インド）の公衆トイレ



今回の普及・実証の事業地は、インド最大の人口を抱えるウッタル・プラデシュ州（北部）の2都市にあります。ムザファルナガル市では大学内の生活排水を、バラナシ市ではガンジス川流域の公衆トイレの汚水をそれぞれTSSで処理し、その効果を実証します。

現在、インドでは人口の約半数が野外で排泄をしています。今回の環境配慮型トイレの導入により、インドの衛生環境の改善、市民の衛生意識向上、トイレの維持・管理を通じた女性の雇用創出を目指します。

(注) この事業は、我が国の中小企業の製品・技術が途上国の開発課題解決に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とした「普及・実証事業」として実施されるものです。2017年3月に行われた公示で本事業は採択されています。

参考：(プレスリリース) 普及実証事業 2017年度第1回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/press/2017/ku57pq000020tusr-att/20170620\\_01\\_p\\_03.pdf](https://www.jica.go.jp/press/2017/ku57pq000020tusr-att/20170620_01_p_03.pdf)

## 【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 総務課 担当:大西  
 TEL:082-421-6300 FAX:082-420-8082  
 E-mail:Onishi. Kiyoto2@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ  
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

